

12月度月例会句会 会報・HP掲載句

十二月詠草

兼題：山茶花、大晦日、当季雑詠

風もなき山茶花日和続きけり	六川 里風
山茶花の恋の気だるき昼下がり	佐藤 政百
山茶花や婦唱夫随で庭を掃き	大仲 正敏
山茶花の宿訪う人や蛇の目傘	中山 知祐
紅白の山茶花添へて同窓会	森 邦彦
山茶花の紅色に想ひ人	小野 信
芝浜を聴きつつ酒の大晦日	石原 克己
大年に今年の夢を棚下ろす	安井 正浩
六人も本読む車両冬日和	城戸崎雅崇
老人会カーテン越しの日向ぼこ	清家 静楓
輝ける芒の穂波月に入る	生江沢五風
地の霜の一指一趾や鳥たちて	宮川 至剛
冬空に兄の声聞く「大丈夫生きる」	眞田 宗興
ドリカムを無理して歌う忘年会	川田 勝美

以上